

再び「他人のふり見てわがふり直せ」について

先月の朝礼で、東京日野市の保育園での児童虐待で職員が逮捕され、「行政による改善命令」も出されたというお話を致しましたが、今回また同様なニュースがありました。

今回は、1週間ほど前に東京都八王子市の精神病院（滝山病院）で患者虐待が明らかになり逮捕者が出たというニュースがありました。そして行政による改善命令がまた出ました。

前回は申し上げましたが、この「改善命令」は大変重いもので従わなければ刑事罰もあり得るほど厳しいものです。

いったいなんでこんなになるまで、この病院も当該の行政の監督部門も気が付かなかったのか、多くの問題があるとも思いますが、私達は他人事と考えずに「他人のふり見て我が不利直せ」です。

スタッフが虐待に気付いてもその病院ではハウ・レン・ソウが無かったそうです。良い機会ですので、自分たちは大丈夫か、の振り返りの機会に致しましょう。

ハウ・レン・ソウは問題解決の基本でもあります。一人で考えていても解決しません。黙っていても解決しません。「三人寄れば文殊の知恵」とは昔から言い古されていることです。どんな優秀な一人よりも確かです。しかもより安全でより安心です。もう一度思い起こしましょう。

当館では、老健の基本である多職種協働・当館の理念・行動指針・話し合いの3原則、等を唱っていますので、気付いても気付かないふりをするなどにはありえないことではないでしょうか。

これらは、私たちの介護業務を遂行する上での必須の項目です。

この上記のハウ・レン・ソウ、多職種協働、当館の理念、当館の行動指針、話し合いの3原則等の基本をあらためて反芻して噛み締めましょう。

自ら進んで、自主的に、自律的に、自律的に仕事に向かい合い、そして「仕事へのやりがい」に繋げていきましょう。

遠慮せずに指摘合いましょう。

